

令和2年10月1日

ご関係の皆様  
国公幼会員の皆様

全国国公立幼稚園・こども園長会  
前会長 新山 裕之  
会長 箕輪 恵美  
埼玉大会実行委員長 久保島 康正

## 埼玉大会誌の送付について

秋晴れの候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃から全国国公立幼稚園・こども園長会の諸事業にご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、本会では新型コロナウイルス感染防止のため、今年度予定されていた総会・研究大会を残念ながら中止としました。代わりに、例年は大会参加者のみに配布しておりました大会誌を関係各位及び国公幼全会員にお届けしたいと考え、埼玉大会実行委員会の皆様のご協力の下、大会誌を作成することができました。ご一読いただければ幸いです。

国公幼は子どもたちの最善の利益のために、コロナ禍においても質の高い幼児期の教育の実現に全力で取り組んでまいります。今後とも、本会の活動へご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 記

- 1 第71回全国国公立幼稚園・こども園長会総会・研究大会  
第53回関東甲信越国公立幼稚園・こども園長研究協議会

埼玉大会誌

1部

### <問い合わせ先>

〒113-0034

東京都文京区湯島1-5-28ナーベルお茶の水208

全国国公立幼稚園・こども園長会事務局

電話 03-5684-2240 FAX:03-5684-2174

E-mail:entyoukai@kokkoyo.com

第71回全国国公立幼稚園・こども園長会総会・研究大会  
第53回関東甲信越国公立幼稚園・こども園長研究協議会

# 埼玉大会



埼玉県マスコット「コバトン」

研究主題

未来を力強く生きていくための基盤をつくる  
幼児教育の創造

～幼児教育の質向上の視点から～

川越市「時の鐘」



秩父市「秩父夜祭」



さいたま市「スーパーアリーナ」

期 日

令和2年 6月 12日(金)・13日(土)

会 場

埼玉会館      ロイヤルパインズホテル浦和

全国国公立幼稚園・こども園長会  
関東甲信越国公立幼稚園・こども園長連絡協議会



## どんなときにも前向きに、子どもたちのために

全国国公立幼稚園・こども園長会 会長 新山 裕之

歴史ある国公幼の会長として、この二年間、多くの方々と出会い、意見を交わし、子どもたち・保護者・保育者のために、微力ながら務めさせていただきました。その原動力は、子どもと共に遊びや生活を創り出し、その成長を間近で感じられるこの仕事への敬意と感謝です。幼児教育の特徴は、目指す山に登る道は多様で、自分や園の独自性に応じて創造性に富んでいることです。ただし、教科書がない分、自らを磨き続けなければ、子どもたちからは笑顔の答えは返ってきません。だからこそ、やりがいがあり、日々ドラマがあり、こんなすてきな仕事はありません。この思いは、園長になって以来、強くなるばかりです。

令和の世となり、人々は世界の安寧を願い、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を楽しみにしていました。私も保育者の一人として、子どもたちと感動を共有したり、世界中の人々が日本に集まる機会に、多様性という意味を実感したり、日本のよさや魅力を改めて確認したりする一年になることを期待していました。そんな矢先、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、3月には多くの園が臨時休園となり、今までに経験のない事態になりました。保育を続けていた園でも、大変な気遣いをされたことでしょうか。その後、長い自粛生活を経て、今は多くの園で保育が再開されているでしょうが、様々な配慮をしながらの保育となっていることと思います。一日も早く、この事態が収束することを願うと同時に、前向きに新しい暮らし方を考えていきたいと思っています。

さらに、昨年10月から始まった幼児教育・保育の無償化は、国公幼に大きな試練をもたらしています。長時間保育を求める保護者の意識が高まっていることは否めません。労働力の確保や経済の視点から、その事実を受け止めながら、常に子どもたちの代弁者として、幼児教育の実践の質の向上という視点で語り続けることが、私たちの使命です。ここ数年の教育改革は、予測困難な社会の変化にたくましく立ち向かう社会の担い手を育てる必要性から始まっています。今回の国難とも言える状況に対しても、私たち大人が、最悪の状況への備えをしながら、明るい未来に向かって前向きに取り組む姿勢を子どもたちに見せていく機会としていきたいと思っています。

今回のような危機的な事態は、園長が個々に対応するだけで解決できるものではありません。国公幼という組織があることで、情報交換をしたり、学び合ったりすることが出来ます。埼玉大会も、全国各地から園長先生方が集まって学び合うことを楽しみにしていましたが、残念ながら中止せざるを得ませんでした。しかし、その代わりにこの大会要項を全国の全ての会員の皆様にお届けいたします。皆さんが国公幼の一員であることへの誇りと自信をもち、全国の仲間とのつながりを深めるきっかけになれば幸いです。

また、国公幼のホームページはここ数か月の間に日々改善を進め、見やすく、関係機関との連携も広がりました。直接お目に掛かることは難しくなっていますが、オンラインやWEB上で皆さんとつながり、情報を共有することができるようになってきています。ぜひ積極的に活用していただきたいと思っています。

結びに、本大会の開催にあたり、企画・運営に多大なご尽力をいただきました、埼玉大会実行委員長 久保島康正様をはじめ、実行委員会の皆様、埼玉県並びに埼玉県教育委員会、さいたま市並びにさいたま市教育委員会他、ご支援ご協力をいただきました関係の皆様にも深く感謝申し上げます。



## すべては学びのチャンス

埼玉大会実行委員長 久保島 康正

令和2年度が始まりました。予定していた埼玉大会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。とても残念な事ではありますが、日本中のすべての人々が一致団結してこのウイルスと戦っていかねばならない状況になっており、やむを得ないことだと思っています。埼玉大会は中止になりましたが、大会誌は令和2年度総会資料及び第71回大会で全国の園長先生方と学びあうために準備をしていただいた提言を中心に作成することとしました。目次については実際には行われなかったものも含めて載せました。なお、今年度の大会誌は、全国のすべての加盟園に配布いたします。

残念ながら、この挨拶を書いている現在は、幼稚園教育も行われていません。この間は子供たちの成長にとってはとても大切な時期です。このことを考えると早く感染拡大がおさまり正常な教育活動ができることを望んでいます。幼稚園が開けないことはやむを得ないとしても、私たちはこの期間を大切に、電話での家庭の様子の確認など保護者との情報交換を適切に行っていくことが大切だと思っています。それが再スタートを切ったときに更に充実した教育を行っていくための力になります。

また、この期間を利用して教材研究を進めたり、幼児教育について学んだりすることが大切だと思います。私の幼稚園では、この期間2つのことを重点にして研修を進めています。一つは小学校とのよりよい接続のために学びのつながりについての研修です。小学校の教育課程編成要領と幼稚園の活動を照らし合わせながら、今まで幼稚園で指導してきたことを「小学校の学び」とのつながりで理解するための研修をしています。もう一つは「非認知能力の育成」についてです。実際、幼稚園の活動は非認知能力を育てている活動になっていますが具体的にどんな能力を育てているのか、育みたいのかを整理しています。その他それぞれの園が様々な取組を行いながら課題解決のためにこの期間を大切にしていることと思います。

ここまで、埼玉県実行委員会としては、今大会に向けて一丸となって準備をしてきました。結果として中止になってしまいましたが、この間、園長同士の連携が深まるとともに多くの学びを経験しました。熊本大会に埼玉県から多くの園長が参加し、全国の園長先生の熱意や創意工夫、様々な課題を乗り越えてきた実績などからたくさんを学びました。そして埼玉大会では、全国の園長先生方にその学びをつくる場、さらにその学びを広げる場を提供したいと考え情報収集、計画検討などを行ってきました。この機会が私たちを成長させてくれたと思っています。

最後になりますが、この大会の実施のためにたくさんのご支援をいただきました文部科学省、埼玉県、埼玉県教育委員会、さいたま市、さいたま市教育委員会をはじめ関係の皆様、提言の原稿をご提出いただきました3名の園長先生方、そしてこの大会成功のためにご心配をいただきアドバイスをいただいたすべての皆様に厚く御礼申し上げます。